

令和5年度 長岡崇徳大学 看護学部看護学科 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

※新課程（令和4・5年度入学生に適用）

科目名	科目番号	担当	単位数		時間数	学年配当	授業形態	内容
			必修	選択				
キャリアデザインⅠ	1104010	田邊 要補	1		15	1	講義	【オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて指導を行う科目】 看護職として自律的に自分のキャリアを選択し自分の働きがいを見つけていけるようなキャリア形成支援を目的とする。まず、看護のイメージや看護専門職に社会が求めるものについて理解し、生涯学習を实践、継続する必要性の理解と意欲を育む。さらに、自己にとって看護の道を選択したことの意味を思考するとともに、看護専門職がどのようなキャリア形成支援を受けながら自立し、看護師として成長を続けるのかについて展望する。また、キャリアの選択にむけて様々な看護の仕事の場やそれぞれの特徴について学ぶ。
人体の構造と機能Ⅰ	2208010	堀江 正男	2		30	1	講義	【医師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 看護学の構成要素である人体の構造と機能の基礎について学ぶ。生命維持のために分子・組織・器官・個体のそれぞれのレベルにおいてどのようなことが営まれているかを学ぶ。具体的には、組織構造の基本、ゲノム、遺伝子と細胞と組織、血液、造血管機能について学ぶ。続いて、看護の基礎となる人体の構造とその体系を学ぶ。具体的には、骨格系、筋系、神経系の構造と機能について学ぶ。
人体の構造と機能Ⅱ	2208020	堀江 正男	2		30	1	講義	【医師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 「人体の構造と機能Ⅰ」に引き続き、看護学の構成要素である人体の構造と機能の基礎について学ぶ。具体的には、消化器系、呼吸器系、循環器系、泌尿器系の構造について学び、さらにそれらの器官が果たす機能について、呼吸と血液の働き、血液の循環、および体液の調節などに焦点を当てて理解を深め、健康維持のために果たす機能の基礎知識を学ぶ。
看護学概論	2311010	大平 富美 倉島 幸子	2		30	1	講義	【看護師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 学問としての看護学を学修する導入として、看護の概念、看護学の発展の歴史、看護倫理や法律など看護を取り巻く諸事情に関する現実的課題、看護の役割の将来展望について学ぶ。また、看護の本質を理解し看護学の目的論・対象論・方法論について学び、看護実践の基盤となる自然観・人間観・生活観・健康観・看護観を養う。さらに看護の独自性・専門性について理解し、専門職としての看護の役割を学ぶ。
基礎看護技術演習Ⅰ	2311030	大橋 洋子 大崎 美奈子 大平 富美 熊倉 良太	2		60	1	演習	【看護師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 看護における技術の考え方および共通する基本技術（感染予防、環境の調整、安全・安楽・自立）について学習する。さらにコミュニケーション、教育的関わりと日常生活援助技術として食事、排泄、活動・運動、睡眠・休息、清潔・衣生活について具体的に学ぶ。演習を通し、看護技術について人間の尊厳と関連して捉えられるように授業を進める

科目名	科目番号	担当	単位数		時間数	学年配当	授業形態	内容
			必修	選択				
基礎看護学実習Ⅰ	2311070	大崎 美奈子 大橋 洋子 大平 富美 熊倉 良太	1		45	1	実習	【看護師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 病院実習において、看護業務を見学し、患者ケアや多職種との連携から看護師の役割や責務について知り、これからの看護学学習への動機付けとなる入門実習となる。実習先の実習オリエンテーションでは、実習病院の運営方針と組織・機能、病棟の構造や設備、特徴、看護体制、安全対策、感染予防対策等から患者の療養環境及び生活の場を理解する。また、診療活動や看護活動、様々な保健医療従事者の活動の実際を知り、看護の役割について学ぶ。
地域包括ケア論	2313010	平澤 則子 高島 葉子 田邊 要補	1		15	1	講義	【オムニバス形式で保健師・助産師・看護師の実務経験を持つ教員が教授する科目】 臨床から地域まで、生活に視点をおいて対象を支援することの意義や地域包括ケアの概念について学ぶ。また日本の在宅ケア・医療政策の動向をふまえて、臨床から地域までつなぐ移行期ケアや看看連携の意義を考える。そして地域共生社会の実現に向け、母子から高齢者を対象とした包括的支援についてその役割を理解し、今後の課題について考察する。
日本国憲法	1106020	三浦 三蔵	2		30	1	講義	【弁護士が教授する科目】 日本国憲法の制定の過程を学び、また基本原理について理解を深める。具体的には、人権の保障、法の下での平等、信教の自由、表現の自由、生存権などについて理解を深める。特に、人権については、人権尊重、人権擁護をめぐる身近な問題を考える。具体的には、いじめ、外国人差別、障害者への偏見、部落差別、労働に関わる問題、女性労働者と育児、介護に関わる問題などである。さらに、法とは何か、日本国憲法と法律の役割を明確にし、法律に関する基礎的、基本的な知識を身につける
人体の構造と機能Ⅲ	2208030	堀江 正男	1		15	1	講義	【医師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 「人体の構造と機能Ⅱ」に引き続き、内分泌系、免疫系、生殖器系、感覚系、皮膚の構造と機能を学ぶ。ここでは、解剖見学実習を行い、実習後、「人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ」で学んだ内容との統合を図る。解剖実習は、新潟市内にある大学の医学部または歯学部にて実施する。この実習を通して、知識の修得統合とともに、人間の尊厳について考える。
病理病態学	2209070	高塚 尚和	1		15	1	講義	【医師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 基本的な病変の原因、成り立ち、経過、転帰など及び疾病の起こるメカニズムについて学ぶ。具体的には、体液異常、血行障害、炎症、変性・壊死・萎縮・老化、腫瘍、過形成、先天異常、代謝などである。また、患者の示す様々な訴えや診察所見（ショックなど）から原因を探る病態症候論も併せて学習する。解剖学、組織学、生化学、生理学、免疫学など他の学問領域と関連させながら学ぶ。

科目名	科目番号	担当	単位数		時間数	学年配当	授業形態	内容
			必修	選択				
看護援助論	2311020	大橋 洋子 大平 富美 大崎 美奈子 熊倉 良太 倉島 幸子	2		30	1	講義	<p>【看護師の実務経験をもつ教員が教授する科目】</p> <p>看護独自の援助を行うために、看護理論を活用し、看護を科学的に進める思考過程である看護過程を学ぶ。看護過程は看護を効果的に実践する方法論の一つであり、対象者のニーズを満たす援助を行うための考える力と基本姿勢を養う。</p> <p>1. 看護理論と看護過程の関係を理解する 2. 看護過程の構成要素を理解する 3. 情報収集の枠組みと実際 4. 全体像の描き方とアセスメント 5. 看護上の問題と援助を実践するための看護計画 6. 事例を用いた看護過程の演習 ・事例提示・グループワークのオリエンテーション ・看護過程の演習をグループワークで行う ・各グループで立案した看護計画を発表し質疑応答を行う</p>
基礎看護技術演習Ⅱ	2311040	大橋 洋子 大崎 美奈子 大平 富美 熊倉 良太	2		60	1	演習	<p>【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】</p> <p>ヘルスアセスメントの意義を理解し、フィジカルアセスメントの基本技術を学ぶ。シミュレーターを活用し臨床判断能力と自ら学ぶ力が育つように進め、さらに看護技術について、人間の尊厳と関連して捉えられるように授業を進める。また、健康障害があり自然な排泄・栄養摂取ができない場合や医療的処置を必要とする看護技術として、導尿・浣腸・ストーマ、経管栄養法・経静脈栄養について基礎看護技術演習Ⅰの内容と関連させながら進める。</p>
薬理学	2209080	佐合 絵里	1		15	2	講義	<p>【薬剤師が教授する科目】</p> <p>薬理に関する基礎的な知識を習得するとともに、基本的な薬物について臨床での活用と関連させて学ぶ。総論として、薬物療法の目的、薬理作用、薬物動態、中毒などを学び、各論として医薬品を系統別に分け、疾病の病態と合わせて治療薬の作用機序、使用方法、副作用相互作用、看護上の留意点について学ぶ。</p>
疾病治療論Ⅰ(循環器)	2209020	伊藤 正洋	1		15	2	講義	<p>【医師が教授する科目】</p> <p>人間の健康を傷害する主な疾患を系統的に取り上げ、病因・病態・診断法・治療法、予後について学習し、看護実践に結び付けるための基礎知識とする。</p> <p>ここでは、循環器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。具体的には、心不全・虚血性疾患、高血圧、不整脈、弁膜症、心筋・心膜疾患、先天性疾患、挫滅症候群などである。治療方法として、薬物療法および手術療法を含む治療例について学ぶ。</p>
疾病治療論Ⅱ (呼吸器・消化器)	2209030	佐藤 和弘 高村 昌昭	1		15	2	講義	<p>【医師が教授する科目】</p> <p>呼吸器疾患、消化器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。</p> <p>(佐藤和弘/4回)呼吸不全、呼吸器感染症、肺循環器障害、気胸、腫瘍などについて学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。治療法については、手術療法の例を含む。</p> <p>(高村昌昭/4回)消化器疾患の病因から治療までを学び、看護実践に結びつけるための基礎知識とする。治療については、手術療法を含む。</p>

科目名	科目番号	担当	単位数		時間数	学年配当	授業形態	内 容
			必修	選択				
疾病治療論Ⅲ (内分泌・代謝、腎)	2209090	福居 和人 中野 正明	1		15	2	講義	<p>【医師が教授する科目】</p> <p>代謝、内分泌疾患、腎疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。</p> <p>(福居和人/4回) 間脳・下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、メタボリック・シンドローム、糖尿病などを学び、看護実践の基礎知識とする。</p> <p>(中野正明/4回) 主な腎疾患と腎機能障害に対する透析療法、腎移植などの治療法を学び、看護実践の基礎とする。</p>
公衆衛生学	2210030	鈴木 翼	2		30	2	講義	<p>【医師の実務経験を持つ教員が教授する科目】</p> <p>集団レベルでの健康増進と疾病の予防について公衆衛生学的な考え方を身につける。人々が関わる社会状況、生活環境、保健医療制度ならびに事業、社会保障および社会福祉など、医学・医療が社会とかわる領域に幅広くまたがる公衆衛生の概念を理解する。そのうえで、公衆衛生の歴史、現代日本の公衆衛生のシステムと政策などを学ぶ。さらに、公衆衛生活動のあらましを理解するとともに、在宅医療、地域保健、途上国などの現場の活動を学ぶ</p>
基礎看護技術演習Ⅲ	2311050	大平 富美 大橋 洋子 大崎 美奈子 熊倉 良太	2		60	2	演習	<p>【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】</p> <p>診断・治療過程にある対象に施される診療（診察・検査・治療）の目的、方法を理解し、診療を補助する看護者の役割と技術を学ぶ。具体的な技術として、検査、与薬、症状・生体機能管理、呼吸・循環を整える技術、罨法、創傷管理、死の看取りについて学ぶ。また診療に伴う対象の心身の苦痛を最小限に抑え、正確で安全な技術の修得を図る。</p>
成人看護学概論	2312010	近藤 ふさえ	1		15	2	講義	<p>【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】</p> <p>成人期にある人々の特性を理解し、援助を展開するために必要な理論や概念について学修する。具体的には、成人期の発達課題と特性、成人の健康に影響を及ぼす要因と健康問題の動向を把握し、保健活動と成人看護の役割を学修する。主要理論・概念ではセルフケア理論、成人学習理論、危機理論、ストレスコーピング、エンパワメント、パートナーシップ、成人にかかわる主な保健医療福祉の法令・施策などについて学ぶ。また、新潟県下の成人の健康問題を考察する。</p>
成人看護援助論Ⅰ	2312020	広井 貴子	2		30	2	講義	<p>【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】</p> <p>成人期にある人を対象とした手術療法と医学的管理、および周手術期看護について学ぶ。手術療法の対象となる疾患の代表的な術式、もたらされる侵襲と術前術後の基本的な医学管理方法についても学ぶ。次いで、急激な身体侵襲から回復安定を必要とする人の看護、生活調整や再構築を必要とする人の看護について事例を通して学ぶ。</p>

科目名	科目番号	担当	単位数		時間数	学年配当	授業形態	内 容
			必修	選択				
成人看護援助論Ⅱ	2312030	目黒 優子	2		30	2	講義	【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】 成人期の主要慢性疾患の診断と治療の特徴を理解し、看護上の問題、看護援助について学ぶ。具体的には、慢性疾患の理解と看護上の問題（腎疾患・呼吸器疾患）、地域における生活習慣病の第2次・3次予防（糖尿病・動脈硬化）、慢性疾患患者のセルフケア支援、地域連携クリティカルパスの概要についても学ぶ。
老年看護学概論	2312080	袖山 悦子	1		15	2	講義	【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】 人生の最終段階にある高齢者の理解と高齢者観を育むことを目的とする。高齢者を、身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から捉え、成熟現象としての老化が健康に及ぼす影響や日常生活に及ぼす影響を理解し、高齢者の可能性を最大限に活かした高齢者の生き方に寄り添う高齢者看護を理解する。また、高齢者を取り巻く環境では、高齢者及び高齢社会について統計的輪郭から理解を深め、保健医療福祉制度の変遷を知り、高齢者支援における多職種連携の必要性、老年看護の倫理的課題について理解する。
小児看護学概論	2312130	渡邊 タミ子	1		15	2	講義	【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】 子どもとその家族に対する看護援助について健康—健康障害にかかわらず、共通する基本的な考え方やアプローチについて学習する。具体的には小児看護の特徴や理念、子どもの成長・発達の基本的概念、小児期の健康問題や予防接種、子どもと家族を取り巻く社会、保健・医療・福祉・教育の果たす役割などについて学ぶ。さらに、子どもの基本的人権、子ども虐待の背景や実態について学び、医療関係者としての役割について基本的知識を学ぶ。
母性看護学概論	2312170	高島 葉子 風間 みえ	1		15	2	講義	【オムニバス形式で看護師・助産師実務経験を持つ教員が教授する科目】 リプロダクティブヘルス・ライツの視点から、女性のライフステージ各期における心身の特徴と健康課題及びそのヘルスサポートに関する理解、性と生殖に関わる倫理、母子の子育て世代地域包括支援の意義などを学修し、母性へのサポートができるための知識を修得する。
精神看護学概論	2312210	田邊 要補 斎藤 まさ子	1		15	2	講義	【オムニバス形式で看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】 心の健康問題についての理解を深め、現代社会における精神保健・医療・福祉の活動とあり方を考える。また、精神保健福祉に関する法律や制度、精神保健福祉の動向について学び、今後の課題と精神看護の役割について考える。心のしくみと人格の発達、精神の健康と障がいのとらえ方、ストレスと適応、精神を病むことを学ぶ。また、精神医療の歴史、精神医療における倫理や法制度について学び、看護の役割を理解する。
地域・在宅看護学概論	2313170	平澤 則子 藤川 あや	1		15	2	講義	【オムニバス形式で看護師・保健師実務経験を持つ教員が教授する科目】 地域看護学の概念や基本的な考え方をもとに、在宅で療養する人とその家族を理解し、質の高い生活を維持できるようにするための看護のあり方を学ぶ。在宅看護の歴史や社会的な背景をふまえ、在宅看護の概念と対象・活動の場・活動方法の特徴を学ぶ。また、在宅看護の展開に必要な法・制度・社会資源について学ぶ。さらに、在宅ケアシステムと看護の機能について学び、在宅看護の役割と課題を考える。

科目名	科目番号	担当	単位数		時間数	学年配当	授業形態	内容
			必修	選択				
公衆衛生看護活動論Ⅰ	2313070	駒形 三和子 平澤 則子 渡邊 路子 山崎 節子	2		30	2	講義	【オムニバス形式で看護師・保健師実務経験を持つ教員が教授する科目】 地域で生活する個人や家族・集団・組織に対して、そのヘルスニーズに応じた公衆衛生看護活動の展開方法を理解し、保健師の役割、機能を学習する。ライフサイクルと健康課題ごとの看護活動方法を理解する。母子、成人、高齢者保健福祉や精神・障害者に対する地域看護活動の展開方法を理解し、看護職の役割・機能を学習する。さらに、難病対策における看護職の役割・機能を学習する。
災害看護論	2313140	春川 一樹	1		15	2	講義	【看護師が教授する科目】 災害看護の基礎としての災害看護の歴史、災害看護の定義、救急医療と災害医療との違いを学ぶ。その上で、実際の現場を想定しながら、災害時医療体制の整備への対応にむけて、災害医療と看護や災害の種類と特徴的疾患、災害サイクルや災害各期の看護支援について理解する。さらに災害時の健康障害やそれを支えるための基礎的な知識を学ぶ。県内で起きた雪害、水害、中越地震、中越沖地震などをテーマに災害看護の学習を深めるために、被災状況の特徴のまとめや、被災体験者からの体験談をもとに、災害時のトリアージや、被災者および看護職としての係わり方を学ぶ
疾病治療論Ⅳ (造血器・運動器)	2209050	山田 修 星野 正	1		15	2	講義	【医師が教授する科目】 運動器疾患、神経疾患、造血器疾患の成り立ちと症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。 (山田修/4回) 白血病などの造血器疾患とその治療法としての化学療法や輸血療法、および放射線療法を学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。 (星野正/4回) 骨折などの筋・骨格器の障害、脊髄損傷などの神経障害による運動機能障害および放射線治療や麻酔療法について学び、看護実践の基礎知識とする。
疾病治療論Ⅴ (脳神経・精神)	2209060	笠井 英世 渡部 和成	1		15	2	講義	【医師が教授する科目】 脳神経疾患、精神疾患の成り立ち、症状、検査、診断、治療について学び、看護実践に結びつけるための基礎とする。 (笠井英世/4回) 様々な原因による高次機能制御系障害について、検査、診断、治療法について学び、看護実践のための基礎知識を深める。手術療法の例を含めて学ぶ。 (渡部和成/4回) 精神および行動障害疾患について学び、看護実践のための基礎知識とする。統合失調症などの疾患の他、ストレス関連障害、摂食障害、行動障害、依存症などを含む。

科目名	科目番号	担当	単位数		時間数	学年配当	授業形態	内 容
			必修	選択				
疾病治療論Ⅵ (婦人科、免疫・アレルギー・膠原病)	2209100	須藤 寛人 中野 正明	1		15	2	講義	<p>【医師が教授する科目】</p> <p>女性生殖器及び免疫・アレルギー・膠原病の成り立ちと症状・検査・診断・治療について学び、看護実践に結び付けるための基礎とする。</p> <p>(須藤寛人/全4回) 生殖器の疾患：子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫、腫瘍：乳がん、子宮体癌、子宮頸がん、卵巣がん、月経異常：無月経、月経困難症、黄体機能不全、不妊症、更年期障害、閉経後障害（骨粗鬆症・動脈硬化・認知症等）などの女性特有の疾患について学ぶ。</p> <p>(中野正明/全4回) アレルギー反応、アレルギー性鼻炎、全身性エリテマトーデス（SLE）、シェーングレン症候群、減感作療法、皮膚疾患（アトピー性皮膚炎など）含む、アナフィラキシーショック、気管支喘息(小児期からの病態と治療) などである。</p>
保健統計学	2210010	鈴木 翼	2		30	2	講義	<p>【医師の実務経験をもつ教員が教授する科目】</p> <p>保健統計に関する統計情報として、人口の静態統計、動態統計、生命表などの人口統計の基礎について学ぶ。また基幹統計の意味、国勢調査や人口動態調査、国民生活調査、国民健康・栄養調査や感染症発生動向調査などの既存の資料を素材にして各種データの読み取り方を学ぶ。またそれらの、保健医療情報の収集の方法と実際を学ぶとともに、保健医療情報に関する法令・指針・原則についても学び、実際の現場で保健医療情報を活用できる基礎的能力を養う</p>
疫学	2210050	鈴木 翼		2	30	2	講義	<p>【医師の実務経験をもつ教員が教授する科目】</p> <p>地域での根拠に基づく保健医療の現場の看護活動のために、疫学概念と考え方や方法を学ぶ。疫学とは何か、疫学がどのように疾病予防に貢献してきたかを学ぶ。そのうえで、集団の健康状態の把握のための指標について、疾病頻度の指標・暴露効果の指標・寄与危険などについて学ぶとともに、疫学的研究方法についてや、スクリーニング、対象別、疾患別疫学の特徴などを学ぶ。統計分析法、公衆衛生学、保健統計学と関連させて学ぶ。</p>
基礎看護学実習Ⅱ	2311080	大崎 美奈子 大橋 洋子 大平 富美 熊倉 良太	2		90	2	実習	<p>【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】</p> <p>疾病や障害を持ち、生きることとはどういうことかといった問いを対象者の立場になって学ぶ実習である。療養している対象者を一人受け持ち、対象者や家族と援助的人間関係を深め、対象者の生活における基本的ニーズの観点から情報収集、アセスメント、計画立案という看護の系統的思考過程の展開を学び、共感や寄り添った看護を科学的根拠を持って実践することで看護を実感し、看護実践の基礎を身につける。また、実習を通して責任ある行動・態度を習得する。</p>
成人看護援助論Ⅲ	2312040	広井 貴子 目黒 優子	1		30	2	演習	<p>【看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】</p> <p>成人看護援助に必要な技術について、科学的根拠を確認しながらより実践的に学ぶ。</p> <p>成人看護援助論Ⅰ、Ⅱで学習した看護技術や看護援助過程について実践的に学習する。成人看護学実習の事前学習として手術からの回復期の看護を含む周手術期の看護援助技術の習得、および慢性疾患をもつ対象者に対するセルフマネジメントにつながる健康支援について、より具体的で実践的に演習を行うことによって学ぶ。</p>

科目名	科目番号	担当	単位数		時間数	学年配当	授業形態	内 容
			必修	選択				
老年看護援助論Ⅰ	2312090	青柳 直樹 角山 裕美子 多田 健一 本庄 幸代 袖山 悦子	2		30	2	講義	【オムニバス形式で看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】 老年期にある対象とその家族、およびそれを支える人びとを対象とし、加齢に伴う心身機能の変化と老年期のアセスメントの特徴、加齢と健康障害に応じた看護に必要な知識・技術について学ぶ。高齢者に特徴的な健康課題の事例から生活機能・目標志向型思考でアセスメントを行い、高齢者のQOL向上に向けた看護を学ぶ。また、高齢者の家族や関わる人々との関係性や地域社会（社会資源）を活用した援助を学び、高齢者の尊厳を守る看護について考察する。
小児看護援助論Ⅰ	2312140	沼野 博子 伊藤 文子	2		30	2	講義	【オムニバス形式で看護師実務経験を持つ教員が教授する科目】 小児期の代表的な疾患の基礎知識や治療の動向、急性期・周術期・慢性期において子どもの身体的特性をふまえた症状アセスメントと看護について学ぶ。 健康障がいによる子ども・家族の状況を理解し、その人らしく生活するための身体的・心理的・社会的援助について学ぶ。 一人の人として子どもを尊重し、医療環境や地域社会の中で健やかな成長を支える看護について学ぶ。 (伊藤文子/7回) (沼野博子/8回)
母性看護援助論Ⅰ	2312180	風間 みえ 高島 葉子 佐藤 初美	2		30	2	講義	【オムニバス形式で助産師・看護師の実務経験を持つ教員が教授する科目】 周産期女性の身体的・心理的・社会的特徴や胎児・新生児の発育発達過程およびその女性を取り巻く家族についても理解する。妊婦・産婦・褥婦・胎児・新生児および家族の健康上の諸課題を理解し、正常に経過するための援助や自己決定能力・セルフケア能力を高めるための看護援助に活用できる知識を学ぶ。 (風間みえ/8回) 妊娠期、分娩期の看護について学ぶ。 (高島葉子/4回) 産褥期の看護について学ぶ。 (佐藤初美/3回) 新生児期の看護について学ぶ。
精神看護援助論Ⅰ	2312220	板山 稔 藤田 勇	2		30	2	講義	【オムニバス形式で助産師・看護師の実務経験を持つ教員が教授する科目】 精神に健康問題を持つ人と家族への看護を展開するためのアセスメントの視点とその方法を理解し、精神的な健康の回復、保持・増進に必要な援助方法を学習する。また、精神医療、地域精神保健福祉における法制度の内容と看護者の倫理、関連する専門職種との役割と連携を理解し、看護の役割について学習する。
地域・在宅看護援助論Ⅰ	2313180	山崎 節子 平澤 則子 駒形 三和子 渡邊 路子 藤川 あや	2		30	2	講義	【オムニバス形式で看護師・保健師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 対象別に在宅療養者とその家族に対する理解を深めるとともに、看護援助の方法を学ぶ。在宅看護で必要とされる基本的な生活援助技術について学ぶ。そして、訪問看護ステーションの役割と機能、病院から在宅への移行のための退院調整、家族のケア、家族間調整、多職種との連携・調整などを学び、家族構成や地域の環境などを包括した在宅療養者のケアについて考える。

科目名	科目番号	担当	単位数		時間数	学年配当	授業形態	内 容
			必修	選択				
公衆衛生看護活動論Ⅱ	2313080	渡邊 路子 平澤 則子 駒形 三和子		2	30	2	講義	【オムニバス形式で看護師・保健師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 学校保健活動と看護、産業看護職の役割と機能について学ぶ。また、感染症対策における保健師の役割と保健指導を学ぶ。そして、地域の健康危機管理の概念、活動体制と行政看護職の機能・役割、健康危機の種別に応じた活動方法を学ぶ。さらに、地域生活集団を対象とした看護管理を学び、既存事業の改革や事業化について考える。
公衆衛生看護支援技術Ⅰ	2313210	渡邊 路子 平澤 則子 駒形 三和子 山崎 節子		2	30	2	講義	【オムニバス形式で看護師・保健師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 公衆衛生看護の理念に基づき、住民の家庭、地域社会生活の場において提供する地域看護援助方法を学び、対象の特性に応じた支援における保健師の役割、機能を考える。個人・家族を対象とした家庭訪問・健康相談、集団を対象とした健康教育・健康学習の方法と技術および地域におけるグループ支援の方法と技術を学ぶ。そして、地域住民と共に展開する地域看護活動の目的と方法を考える。
公衆衛生看護学概論	2313060	平澤 則子 渡邊 路子	2		30	1	講義	【オムニバス形式で看護師・保健師の実務経験をもつ教員が教授する科目】 本人・家族や集団、組織を含む地域を基盤とした看護活動の考え方、公的ヘルスケアサービスの中で機能する看護のあり方を学ぶ。また、予防的介入を基盤とした公衆衛生看護活動を具体的に学び、人々の健康に貢献するために看護がどのように機能することが求められているかを考える。
合 計			59	6	1170			